

# 大桑まさたか 特別号-3



横浜市議員 2 期目  
よろしくお願いします！

さかえく せかい か  
栄区から横浜を変える！

## 【公約】

現在を含め未来のために持続可能な横浜（社会）をつくる！

## 大桑新聞特別号と大桑新聞通常号

大桑新聞特別号（カラーで作成しています）は、毎月配っている大桑新聞通常号とは、会計や書いている内容が異なります。大桑新聞特別号は、私が政治家として持っている政治資金で作成しています。一方、大桑新聞通常号は、私が市議員として頂いている政務調査費で作成しています。

次に、私の政治資金ですが、私の資金から政治資金にしたものや皆さんからのカンパからなっており、広く政治活動に関することに使用することができます。

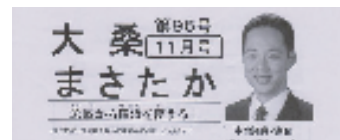
また、今回の大桑新聞特別号を読んで頂ければ分かるように、横浜市政に関係のないことなど（私の政治活動など）も自由に書くことができます。

それに対し、政務調査費で作る大桑新聞通常号は、基本的には横浜市に関連すること（市政報告）を書かなければいけません。たとえば、横浜市に関係ないことを大桑新聞通常号で書けば、その記事の分は政務調査費が使えない可能性も出てきます。

大桑新聞特別号と大桑新聞通常号の違いは、少し分かりにくいかもしれませんが、ご理解頂ければ幸いです。よろしくお願いします。



《大桑新聞特別号》



《大桑新聞通常号》

## カンパについて

大桑新聞特別号でお願いをしているカンパについてですが、早速、銀行などに振り込んで頂いております。ありがとうございます。今回頂いたカンパも含め、今まで頂いたカンパについては、大桑新聞特別号の作成費用や私の政治活動の資金とさせて頂いております。ちなみに、大桑新聞特別号は、カラー印刷のため一枚約10円となっており、今回の特別号を含め2万5千枚印刷しておりますので、約25万円かかっています。

## 大桑新聞 特別号-3

## プロフィール 大桑 正 貴(まさたか)

発行元

横浜市議員 大桑正貴(まさたか)

〒247-0005 神奈川県横浜市栄区桂町688-4-601

HP : <http://m-okuwa.net/>

E-mail : [m-okuwa@mvg.biglobe.ne.jp](mailto:m-okuwa@mvg.biglobe.ne.jp)

昭和48年(1973年)7月4日生まれ横浜育ち 血液型A型  
横浜市立小山台小学校入学  
大分県立大分舞鶴高校入学(1年次冬、転勤で横浜へ戻る)  
神奈川県立大岡高校卒業  
神奈川大学法学部法律学科卒業  
平成14年(2002年)12月 アシスト株式会社退職  
平成15年(2003年)4月 横浜市議員 初当選  
平成19年(2007年)4月 横浜市議員 2期目当選  
平成21年(2009年)9月 明治大学 専門職大学院卒業

## カンパのお願い！

法律により、「法人」や「匿名の方からの年間5万円以上」のカンパは受け取ることが出来ません。

振込先 : 三菱東京UFJ銀行 港南台支店 普通口座 1097570

口座名義 : 大桑正貴としがらみのない政治を実現する会 大桑 正貴

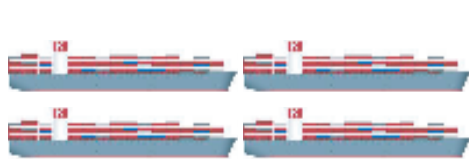
この大桑新聞特別号は、皆さまのカンパをもとに作成しています。

## 国際コンテナ戦略港湾と羽田空港国際化

平成22年8月6日(金)に横浜港を含む「京浜港」(横浜港・東京港・川崎港)が国際コンテナ戦略港湾に選定されたことは、大桑新聞通常号でお知らせしましたが改めて、大桑新聞特別号でも羽田空港国際化とあわせてお知らせします。

上記の国際コンテナ戦略港湾とは、国土交通省の取り組みで、国内の主要港の中から1・2港を選び、国の予算を集中的に配分するなどして、選定された港の国際競争力を高めようというものです(取り扱い貨物量を増やす)。

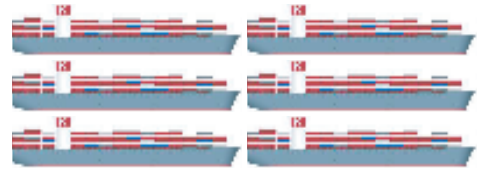
[ 現在の貨物量 約760万TEU ]



[ 平成20 ]

取り扱い  
貨物量を増やす

[ 目標の貨物量 約1050万TEU ]



[ 平成27 ]

※「TEU」とは貨物量を表す単位(1TEU = 1コンテナ)

今回、国土交通省が国際コンテナ戦略港湾を作ろうとしている理由は、日本の港が上海や釜山などアジアの主要港に貨物量などで遅れをとっており、日本の港の競争力が落ちているためです。その上で、横浜市にとっての横浜港ですが、市内雇用や市内所得など市内経済の約30%を支えると同時に、企業誘致や観光などという視点からも大切な拠点となっています。

次に、羽田空港ですが、平成22年10月31日(日)から国際定期便が就航しました。また、上記のように、京浜港(横浜港・東京港・川崎港)が国際コンテナ戦略港湾に選定されています。このように、横浜市にとって、国際化した羽田空港や国際コンテナ戦略港湾に選ばれた横浜港を含む京浜港は、横浜市に企業を誘致したり観光客を呼び込む大きな武器になります。そして、それは結果的に横浜市の税収が増える可能性が高まることとなります。

最後になりますが、少子高齢化が進み、人口が減少すれば、横浜市(日本)の医療費や介護費は増大し、税収は減少します。近い将来の対策のためにも、今から横浜市(日本)の税収を(法人税を中心に)増やす取り組みは必要になります。また、羽田空港や京浜港が活性化するか否かは、日本経済にも大きな影響を与えますので、ご理解頂ければ幸いです。

## 栄区(横浜市)の現状と今後の課題

2010(平成22)年4月1日現在の栄区の人口は、**12万4,808人**(横浜市の人口は、367万2,985人)です。また、世帯数は、**5万0,654世帯**となっています。

次に、横浜市の将来人口推計によると、2055(平成67)年、45年後には、栄区の人口は**約8万人(約4万5千人減少)**になるとされています(横浜市の人口は、約320万人)。また、世帯数でいえば、**約3万5千世帯(約1万5千世帯減少)**ということになります。

横浜市の人口はあと10年程度は増加するとされていますが、その後は減少に転じると予想されています。この人口減少や世帯数の減少は、栄区や横浜市にとって大きな問題になると、私は考えています。

2010(平成22)年4月1日

現在  
横浜市 栄区  
人口は、**12万4,808人**  
世帯数は、**5万0,654世帯**

45年後

2055(平成67)年  
横浜市 栄区

人口は、**約8万0,000人**  
世帯数は、**3万5,000世帯**

※人口は、約4万5千人、世帯数にすると、約1万5千世帯減少すると予想されている。

大桑  
新聞

大桑新聞では、みなさまとともに、  
栄区について考えていきたいと思っております。

HP : <http://m-okuwa.net>

E-mail : [m-okuwa@mvg.biglobe.ne.jp](mailto:m-okuwa@mvg.biglobe.ne.jp)

JR大船駅・JR本郷台駅・JR港南台駅、いずれかの駅で配布しております。